

■ flexboxアイテムで指定できるプロパティ

flex : ボックスの伸縮性

構文 :

flex : flex-grow プロパティ値 flex-shrink プロパティ値 flex-basis プロパティ値 ;

flex-grow (伸び率)

flex コンテナの幅が flex アイテムの幅の合計より大きい場合、指定した伸び率で各 flex アイテムの幅を基本幅から伸ばします。すべての flex アイテムに対する伸び率の比率が指定した flex アイテムの伸び率となります。「0」以上の正の数で指定し、初期値は「0」です。「0」の場合は伸びません。

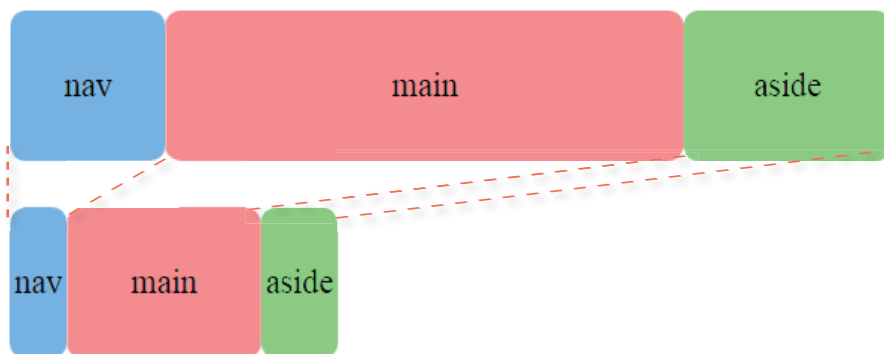
flex-shrink (縮み率)

flex コンテナの幅が flex アイテムの幅の合計より小さい場合、各 flex アイテムの幅を基本線から縮ませて flex コンテナの合計にします。すべての flex アイテムに対する縮み率の比率が指定した flex アイテムの縮み率になります。「0」以上の整数値で指定し、初期値は「1」です。「0」の場合は縮みません。

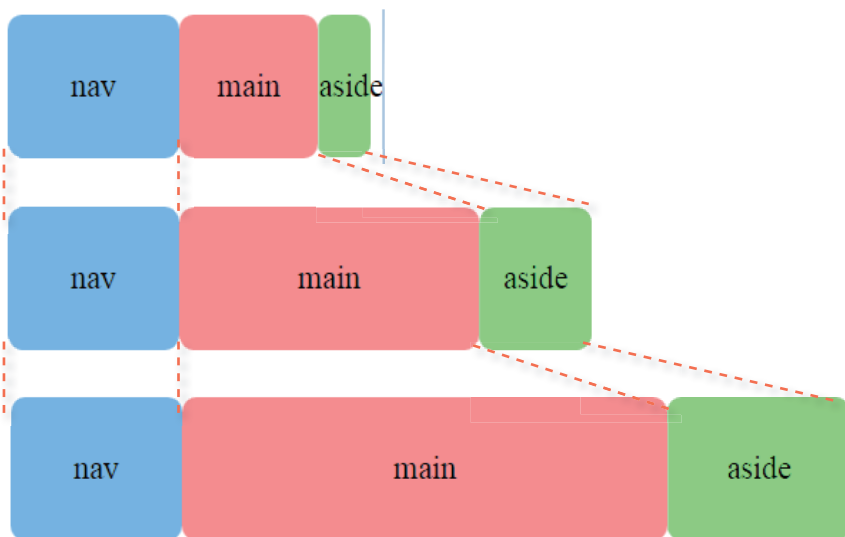
flex-basis (基本幅)

flex アイテムの伸縮する前の幅です。長さ、パーセント、auto のいずれかで指定します。初期値「auto」の場合は width プロパティの算出値となります。

* flex を指定しない場合



* flex プロパティを指定した場合 <nav> の flex-grow flex-shrink「0」



Point

▷ flex

flex-grow、flex-shrink、flex-basis プロパティのショートハンドです。個別に指定することも、省略することも可能です。

Point

▷ 基本幅

パーセントで指定すると flex コンテナの値に対する比率となります。

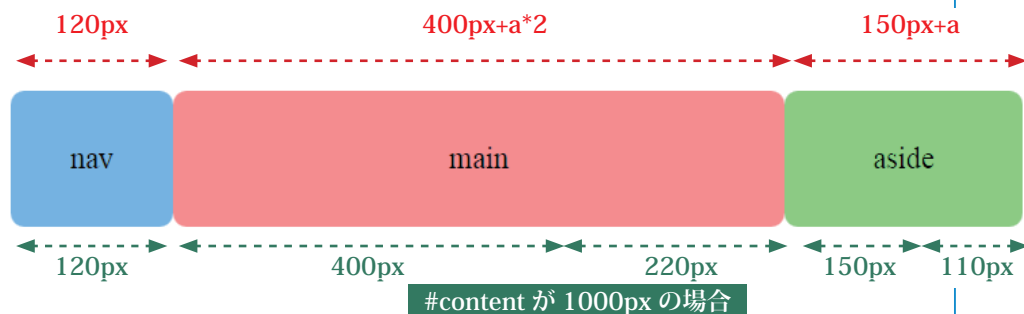
● 実習 Chapter3-9

"story_sample02.html" に次のコードを追加してボックスの伸縮性を設定します。

```
div#content { display:-webkit-flex; display:flex; }
nav { -webkit-flex:0 0 120px; flex:0 0 120px; }
main { -webkit-flex:2 1 400px; flex:2 1 400px; }
aside { -webkit-flex:1 1 150px; flex:1 1 150px; }
```

※ <nav> ボックスの幅は固定で「120px」です。

※ flex コンテナの幅が flex アイテムの幅の合計より大きい時は、<main> ボックスと <aside> ボックスが「2 : 1」の比率で伸びます。下図の a は（親ボックスの幅 1000px-120px-400px-150px）÷ 3 = 110px となります。



※ flex コンテナの幅が flex アイテムの幅の合計より小さい時は、<main> ボックスと <aside> ボックスが「1 : 1」の比率で縮みます。

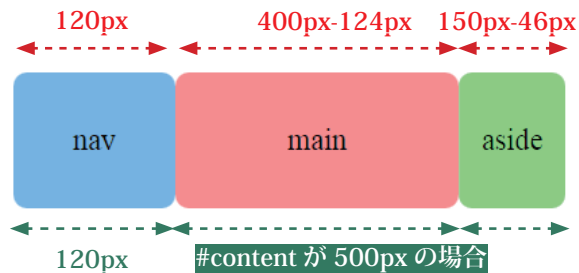
下図の幅の計算方法

#content が 500px だった場合、500 - 120 - 400 - 150 で、170px 不足します。

main : aside = 400 : 150 = 8 : 3 です。

main の幅は、この不足分 170px ÷ (8 + 3) × 8 = 123.6・・・

aside の幅は、この不足分 170px ÷ (8 + 3) × 3 = 46.3・・・



align-self : 個別の Flex アイテムの垂直方向の揃え方

flex アイテムの縦方向の整列を指定します。flex アイテムに指定して、個別の flex アイテムの位置揃えをします。

Point

align-items プロパティは flex コンテナに指定して、すべての flex アイテムに同じ位置揃えをします。